

これからの府中市の学校教育で大切にしたいこと

変化の激しい、予測困難といわれる時代を生きる児童・生徒にはどのような力が必要でしょうか。そのために学校は何ができるでしょうか。府中市教育委員会では、義務教育9年間をとおして、児童・生徒に必要な力を身に付けてもらうために、特に重視して取り組む教育活動の基本的な考え方をまとめました。



これからの社会

VUCAの時代



少子化・人口減少
少や高齢化



グローバル化
地球規模の課題



DXの進展
AIの活用



精神的豊かさの重視
ウェルビーイング



VUCAとは：Volatility（変動性）・Uncertainty（不確実性）・Complexity（複雑性）・Ambiguity（曖昧性）の4つの単語の頭文字を並べたもので、予測が難しく、変化が激しい社会を表す言葉です。

グローバル化に伴う地球規模の課題、AIの進化など急速な情報化の進展、少子化や人口減少など、社会の変化が複雑で予測困難となっています。これからの児童・生徒には、変化の激しい社会の中でも感性を豊かに働かせ、試行錯誤しながらよりよく問題を解決する資質・能力の育成が求められています。府中市教育委員会では、義務教育9年間で特に重視して育成を目指す資質・能力を次のように設定しました。



府中市の義務教育9年間で特に重視して育成を図る資質・能力

課題を発見し、課題解決に主体的に向き合い、自らの考えを形成するとともに他者と協働しながら合意形成を図り、よりよい自己を実現する力

府中市立小・中学校が特に重視する資質・能力を育成するために、特に重視する4つの学びをまとめました。これらの学びを教科の授業や学校行事等、教育活動全体で重視することで、各教科で育成を目指す資質・能力はもちろん、これからの社会の中で必要な資質・能力の育成につながると考えています。



これからの教育活動において特に重視する4つの学び

○発見すること

児童・生徒が、主体的に目標や課題を発見し、課題解決や自己実現に向けて見通しをもって、自主的・実践的に学ぶことができるようにする



○対話すること

児童・生徒が、多様な価値観を認め、考えを相互に伝え合い、合意形成を図ったり問題解決を図ったりできるようにする



○決定すること

児童・生徒が、課題解決や自己実現に向けて、集団や自己の状況を把握しながら調整し、方法・目的・結果等を決定できるようにする



○表現すること

児童・生徒が、よりよい自己・集団・社会の実現に向けて、言葉や行動で表現できるようにする



この「特に重視する4つの学び」を充実させることで推進される学校教育を、「きづく」「つながる」「たかめる」という3つのキーワードで整理しました。



これからの府中市立小・中学校教育のキーワード

- ・自己や集団の課題にきづく
- ・目標にきづく
- ・自分や友達のよさにきづく
- ・心身の状態にきづく
- など

きづく

- ・友達や先生等とつながる
- ・学びがつながる
- ・未来や世界とつながる
- ・学校、関係機関、社会とつながる
- など

つながる

課題を発見し、課題解決に主体的に向き合い、自らの考えを形成するとともに他者と協働しながら合意形成を図り、よりよい自己を実現する力

- ・自己実現に向けて自分自身をたかめる
- ・自己肯定感をたかめる

たかめる

- ・学力や体力をたかめる
- ・集団や社会をよりよくたかめる
- など